伊勢物語（筒井筒）　＊＊

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

さて、年ごろ経るほどに、女、親なく、頼りなくなるままに、①もろともに言ふかひなくてあらむやはとて、河内の国高安の郡に、①行き通ふ所出で来にけり。さりければ、このもとの女、悪しと思へる気色もなくて、出だしやりければ、男、②異心ありてかかるにやあらむと思ひ疑ひて、前栽の中に隠れゐて、河内へ往ぬる顔にて見れば、この女、いとよう化粧じて、うちながめて、

風吹けば沖つ白浪たつた山夜半にや君がひとり越ゆらむ

と詠みけるを聞きて、③限りなくかなしと思ひて、河内へも行かずなりにけり。

まれまれ、かの高安に来てみれば、④初めこそ心にくくもつくりけれ、今はうちとけて、手づから飯匙取りて、笥子の器物に盛りけるを見て、心憂がりて、行かずなりにけり。さりければ、かの女、大和の方を見やりて、

君があたり見つつをらむ生駒山雲な隠しそ雨は降るとも

と言ひて見出だすに、からうじて大和人、「来む。」と言へり。喜びて待つに、たびたび過ぎぬれば、

君来むと言ひし夜ごとに過ぎぬれば頼まぬものの恋ひつつぞ経る

と言ひけれど、男、住まずなりにけり。

問一　波線部Ａ～Ｅの動詞の活用の種類をそれぞれ答えなさい。

問二　二重傍線部**ア**～**エ**の活用語の活用形をそれぞれ答えなさい。

問三　傍線部①～④を現代語訳しなさい。

問四　点線部①「行き通ふ所」とあるが、どのような所か具体的に答えなさい。

問五　点線部②「かかるにやあらむ」とあるが、女のどのような態度を指しているのか。説明しなさい。

問六　「風吹けば」の歌の序詞について、次の各問いに答えなさい。

(1)　序詞の部分を歌から抜き出しなさい。

(2)　序詞が掛かる語を歌から抜き出しなさい。

(3)　序詞と掛かる語の関係を説明しなさい。

問七　傍線部⑤「な隠しそ」について、次の各問に答えなさい。

(1)　現代語訳しなさい。

(2)　何を「な隠しそ」なのか。対象を本文から抜き出して答えなさい。

問八　男が高安へ通わなくなった理由として適当なものを次の**ア**～**カ**の中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア　もとの女が浮気をするのではないかと心配になったから。

イ　もとの女の嫉妬心を感じ、気がひけたから。

ウ　もとの女の自分を思う気持ちにうたれ、いとおしくなったから。

エ　度々来訪を催促する高安の女が疎ましくなったから。

オ　以前とは違う、高安の女の不作法な振る舞いに幻滅したから。

カ　夜の山越えが危険なものであるともとの女に注意されたから。

問九　この話の内容から、男が住んでいたのはどこであったと考えられるか。漢字二字で答えなさい。

問十　この話が収められている作品名を漢字で答えなさい。

問十	問九	問八	問七	問六		問五	問四	問三				問二	問一	
			(1)	(3)	(1)			④	③	②	①	ア	D	A
												イ		
			(2)		(2)							ウ	E	B
												エ		C

学年
組
番号
氏名
得点

伊勢物語（筒井筒）　＊＊

〔出題の意図と留意点〕　登場人物の心情を現代語訳などで問うほか、物語の地理的確認、文法事項の確認、和歌の修辞について問う。

☆解答例と配点

問一　Ａ　ハ行下二段活用　　Ｂ　ラ行四段活用　　Ｃ　ワ行上一段活用　　Ｄ　ナ行変格活用　　Ｅ　サ行変格活用
〈1点×５〉

問二　**ア**　已然形　**イ**　連体形　**ウ**　未然形　**エ**　連体形　〈2点×４〉

問三　①　夫婦そろって貧乏な状態でいられようか
②　浮気心があって、このような（平静な）態度をとるのではなかろうか
③　この上なくいとしい
④　初めのうちは奥ゆかしく身繕っていたが　〈3点×４〉

問四　別の女の所。　〈2点〉

問五　「嫌だ」と思っているような様子もなく夫を送り出す態度。　〈3点〉

問六　(1)　風吹けば沖つ白浪　〈2点〉　(2)　たつ　〈2点〉
(3)　白浪が「立つ」意と、地名の「竜」田山の意を掛けている。　〈3点〉

問七　(1)　隠してくれるな　〈3点〉
(2)　生駒山　〈2点〉

問八　**ウ・オ**　〈2点×２〉

問九　大和　〈2点〉

問十　伊勢物語　〈2点〉

計50点

伊勢物語（筒井筒）　＊＊＊

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

昔、田舎渡らひしける人の子ども、井のもとに出でて遊びけるを、大人になりにければ、男も女も恥ぢかはしてありけれど、男は、この女をこそ得めと思ふ。女は、①この男をと思ひつつ、親のあはすれども、聞かでなむありける。さて、この隣の②男のもとより、かくなむ。

Ａ筒井筒井筒にかけしまろが丈過ぎにけらしな妹見ざるまに

女、返し、

Ｂくらべこし振り分け髪も肩過ぎぬ君ならずしてたれか上ぐべき

など言ひ言ひて、つひに③本意のごとくあひにけり。

さて、年ごろ経るほどに、女、親なく、頼りなくなるままに、④もろともに言ふかひなくてあらむやはとて、河内の国高安の郡に、行き通ふ所出で来にけり。さりけれど、このもとの女、悪しと思へる気色もなくて、出だしやりければ、男、⑤異心ありてかかるにやあらむと思ひ疑ひて、前栽の中に隠れゐて、河内へ往ぬる顔にて見れば、この女、いとよう化粧じて、うちながめて、

Ｃ風吹けば沖つ白浪たつた山夜半にや君がひとり越ゆらむ

と詠みけるを聞きて、⑥限りなくかなしと思ひて、河内へも行かずなりにけり。

まれまれ、かの高安に来てみれば、⑦初めこそ心にくくもつくりけれ、今はうちとけて、手づから飯匙取りて、笥子の器物に盛りけるを見て、心憂がりて、行かずなりにけり。さりければ、かの女、大和の方を見やりて、

君があたり見つつをらむ⑧生駒山雲な隠しそ雨は降るとも

と言ひて見出だすに、からうじて大和人、「来む。」と言へり。喜びて待つに、たびたび過ぎぬれば、

君来むと言ひし夜ごとに過ぎぬれば⑨頼まぬものの恋ひつつぞ経る

と言ひけれど、男、住まずなりにけり。

問一　傍線部①、②の後に省略されている語句を、それぞれ現代語で書きなさい。

問二　傍線部③「本意」とは本文中のどの部分を指すか。その部分を本文中から抜き出しなさい。

問三　傍線部④の解釈として適切なものを次の**ア**～**エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　親に迷惑をかけるだけのふがいない状態でよいわけがない。　**イ**　夫婦そろって貧乏な生活をしているわけにはいかない。

ウ　こんなつまらない男と暮らす味気ない生活にあきあきした。　**エ**　この女と一緒にいるばかりでは将来とても不安な気がする。

問四　傍線部⑤の解釈として適切なものを次の**ア**～**エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　自分にすっかり愛想をつかして、こんなふうに平気な態度を見せつけているのではあるまいか。

イ　妻に浮気心があって、そのために、自分をこのように快く送り出すのではあるまいか。

ウ　妻は心中深く決意するものがあって、そのために、自分を潔く扱っているに違いない。

エ　自分の本心にわざとさからって、以前とは異なったよそよそしい態度を見せつけているのかもしれない。

問五　傍線部⑥「限りなくかなしと思ひて」とあるが、誰がどのようなことについて感動したのか。簡潔に説明しなさい。

問六　Ｂの歌は、Ａの歌に対して、どういう点についてどのように返歌しているか。その説明となるように、次の文の空欄ａ～ｃに入れる適切な語句を、Ａ、Ｂそれぞれの歌の中から抜き出しなさい。

「井筒にかけしまろが丈」に対応させて、「［ａ］」とし、「［ｂ］」に対して「肩過ぎぬ」、また、「妹見ざるまに」には、「［ｃ］」と応じて、それぞれ、前の歌の語句に対応させている。

問七　Ｃの歌に用いられている修辞法について、次の問いに答えなさい。

(1)　ⅰこの歌における序詞を抜き出し、ⅱその序詞が導き出している語句を答えなさい。

(2)　ⅰ掛詞を抜き出し、ⅱそこに掛けられた意味をそれぞれ答えなさい。

問八　傍線部⑦について、次の問いに答えなさい。

(1)　主語は誰か。　(2)　現代語訳しなさい。

問九　傍線部⑧とあるが、生駒山を隠すなと雲に訴えているのはなぜか。説明しなさい。

問十　傍線部⑨について、次の問いに答えなさい。

(1)　何を「頼まぬ」なのか、答えなさい。　(2)　十字以内で現代語訳しなさい。

問十	問九	問八		問七		問六	問五	問三	問二	問一
(1)		(2)	(1)	(2)	(1)	a				①
				i	i			問四		
				ii						
						b				②
					ii					
(2)						c				

学年
組
番号
氏名
得点

伊勢物語（筒井筒）　＊＊＊

〔出題の意図と留意点〕　歌物語としての特徴の理解に主眼を置き、内容読解、和歌の修辞の理解の度合いを問う。

☆解答例と配点

問一　①　夫にしよう　②　歌を贈ってきた　〈３点×２〉

問二　男は、この女をこそ得めと思ふ。女は、この男をと思ひ　〈３点〉

問三　**イ**　〈３点〉

問四　**イ**　〈３点〉

問五　男が、疑った妻がかえって自分のことを思ってくれていることをいとしく思った。　〈５点〉

問六　**a**　くらべこし振り分け髪も　**b**　過ぎにけらしな　**c**　君ならずして　〈２点×３〉

問七　(1)　ⅰ風吹けば沖つ白浪　ⅱたつ　〈２点×２〉

(2)　ⅰたつ　〈２点〉　ⅱ白浪が立つの「立つ」と竜田山の「竜」　〈２点×２〉

問八　(1)　高安の女　〈２点〉　(2)　初めのうちは奥ゆかしく身繕っていたが　〈４点〉

問九　いとしい男の住む大和の方が見えなくなるから。　〈４点〉

問十　(1)　男の来訪　(2)　あてにしないけれども　〈２点×２〉

計50点